

(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(63)

六甲台キャンパスの近況

秋の深まりが感じられるようになり、六甲台キャンパスでは木々が色づき始め、例年と変わりなくきれいな景色に包まれています。例年と異なるのは、キャンパスに学生の姿がないというところぐらいで、なんとなくうら寂しい感じが強くなってきたことでしょうか。今年には本当にコロナの影響で、後期に入っても学生がまだ十分にはキャンパスでの講義に参加できない状況が続いています。日の暮れが早くなってきた夕暮れ時間帯には、本当は学生が講義を受講し終えて帰宅の途に就く時間帯でも、学生ではなく近くの住民の方々の犬の散歩姿が目につくか、日が暮れてからは神戸大学のロゴになっているうり坊がキャンパスの中を闊歩していることが目立つぐらいです。大学に学生といたった若者の姿がないのは、なんとなく違ったところにいるような感覚を持ってしまいます。コロナ騒動が始まって半年以上、ほぼ1年になるうとしているのに、大学ではまだ講義もオンライン中心で、いつになれば大学に通学して元通りのキャンパスの姿が復活するのか、それともこのまま講義はオンラインで行われ、学生がキャンパスに来る機会がなくなってしまうのか、ポスト・コロナ時代の大学はどうなるのか、そろそろ真剣に考えなければならぬ時期に来ているように感じられてしまう今日この頃です。

ただ、そうはいっても前期のように全く大学生がキャンパス

に來られないような状況は少しずつですが改善されているように感じられます。少なくとも図書館や資料室へは入館・利用可能になっていますので、卒業論文や学位論文、あるいは雑誌投稿が予定される学部学生や院生諸君など、執筆の急がれる研究課題のある学生はキャンパスにやってくるようになっていきます。また、放課後のクラブ活動もぼちぼち始まり、さらに院生研究室は利用できるようになっているので、まだまだ少数ではありますが、昼間はチラホラ学生の姿を見ることができるようになりました。特に外国人留学生は、そもそも来日が困難のために本当に少数にとどまっていますが、神戸に來ている留学生はキャンパスに來るようになっていきます。講義もオンライン中心とはいえ、対面式の講義も一日に数科目あり、そのために來学する者もチラホラ増えてきてはいますが、生協が閉まったままで、卒業生の皆様にはご存知の方が多いと思いますが、食事にも書籍や日用品購入にも下まで降りなければならぬために、六甲台キャンパスはまだまだ日常を取り戻せていないような状態が続いています。

講義はオンライン中心ですが、今年はコロナの影響でホームカミングデイもオンラインで実施されています。大学のホームページからオンラインに入っていただければ、木々が色づくキャンパスの雰囲気は味わえますが、來学されて現在の六甲台キャンパスの状況を感じていただけないという残念な状況です。また同時に感染拡大・クラスター・リスク回避の理由から例年秋になると風物詩のようになっていた六甲祭も中止となり、現在の在學生には不本意な一年になっているような次第です。

コロナ第三波の影響下で

11月に入って感染者数増加から、コロナ第三波の襲来が世間では声高に言われています。インフルエンザ感染の時期も重なって皆様にも体調の管理は十分にお気をつけいただきたいと存じます。Go To O O (トラベルやイート、イベントなど)とのキャンペーンが世間ではにぎわっていますが、本当に皆様にも感染症にはくれぐれもご用心ください。10年前の東日本大震災に伴って発生した原発事故でのリスクの際も同じであったのですが、目に見えない敵と戦うことほど神経をすり減らし、肉体的にだけでなく精神的にも大きな負担になるものはありません。原発事故の放射能汚染とは異なり、今回のコロナは、大都市圏での感染拡大が指摘され、様々な情報が出回る関係で、特に京阪神の大都市圏に位置する神戸大学でも風評被害にだけは注意しなければならず、インターネット・SNSでの情報発信が盛んになっている今日では、情報の取捨選択も情報を受け取る個人の判断に委ねられていますので、あまり世間の変な噂には惑わされないようにすることが必要と存じます。

ホームカミングデイや学園祭である六甲祭の中止などは、第三波が指摘される前から決まっていたことでもあり、本年度は仕方ないかなあとのあきらめ気分が漂っているところですが、本番前とはいえ、入試は例年通り通常の方式で受験生には来学してもらい受験してもらっています。すでに大学院の入試は経済学研究科や経営学研究科、法学研究科、国際協力研究科では、教室の数を増やし、密を避けながら例年通りで実施されており、学部入試なみの人数で行われる法学研究科実務法律専攻(いわ

ゆる法科大学院)の入試も、感染症リスク対策には十二分に注意を払って、教室数を増やし、三密を避けながら実施予定になっています。年が明けると来年度入学生選抜のための学部の入試が実施されるはずですが、コロナ禍のためにセンター入試が新制度になることは忘却の彼方になっており、コロナ第三波が今後どうなるかによって実施形態が変更されるかもしれません。但し、入試はオンラインで実施するというもののリスクが大きいく、それをどのように回避するのかについての議論をまだ十分行っていない関係で、次年度入試(2021年冬に実施)については不透明な部分が残っています。コロナ禍の中で行われたアメリカ合衆国大統領選挙のような混乱は避けたいものです。入学試験の実施には、最近はやりの「全集中の呼吸」で対応する必要がありますが大学教員には求められそうです。

そのような中で、秋の褒章では法学研究科名誉教授の三井誠先生(刑事訴訟法専攻)に瑞宝中綬章が授与されました。本稿執筆者は学部生時代、既に40年近く前になりますが先生の講義を受講し単位をいただいた上に、法学部・法学研究科の教員として採用いただいた際の法学部長でもあらせられ、採用辞令をいただいた関係もあり、特にうれしく、非常に喜ばしいことと存じます。他部局の名誉教授の中にも褒賞された先生方がおられたかもしれませんが、残念ながら現時点では確認できておりません。今回は三井先生の褒章についてのみお祝いの言葉をお送りしておきます。三井先生には誠におめでとうございませう。今後ますますのご健勝を祈念いたします。

いつも皆様の「寄附誠にありがとうございます」

前号でご報告させていただいた以降、11月16日現在でのご報告となりますが、多くの皆様から「寄附をいただいております。誠にありがとうございます」。

金額別に、吉川崇浩様(平19法)千円、島本知加様(平13経済)、栗谷愛宣様(平11経営学研究科)、四宮孝郎様(昭52法)、大仲啓介様(昭57経済)、松原永長様(平5法)各5千円、黒田捷洋様(昭41経済)、千代延明憲様(昭41法)、中村滋彦様(昭60経済)、伊藤雅康様(昭55経営)、土蔵康司様(昭53経営)、井阪正光様(昭59法)、岩永浩明様(昭34経済)、清水秀男様(昭41経済)、近藤和雄様(昭32法)、村田徹様(昭48法Ⅱ)、山根卓二様(昭54経営)、千秋弘和様(昭36経営)、松村弥寿子様(昭29法・松村暢之様のご令室)、辻雄史様(昭34法)、本多誠一様(昭44経営)、鳥原和憲様(昭41経済)各1万円、原田雅隆様(その他)、吉本真之様(平9経済)、藤原潤一様(昭46法)各2万円、立脇和夫様(昭34経営Ⅱ)、広瀬健次様(昭42経済)各3万円、片桐陽様(昭40経済)、上月秀夫様(昭32経済)、竹川清様(昭51経営)各5万円、鶴浩一様(昭32経済)、河野聡様(昭28経済)、木村正則様(昭50経済)各10万円、倉島鉄一様(昭35経営)30万円、(有)シークス渡部進様(昭47経済)150万円をご寄附いただきました。誠にありがとうございます。

また、毎年、社会科学系4研究科及び経済経営研究所の先生方をお願いしている「寄附についても次のとおり頂きました。部局順に法学研究科先生方51名の15万3千円、経済学研究科先生方36名の11万8千円、経営学研究科先生方54名の16万2千円、

国際協力研究科先生方22名の6万6千円、経済経営研究所先生方22名の6万6千円です。毎年、先生方には大変ありがとうございます。

加えて、珊瑚会の皆様は、令和2年10月31日、卒業60周年記念全国大会を開催されました。そして卒業60周年を記念して六甲台後援会に総額64万3千円のご寄附をいただきました。お名前を学部別にご報告させていただきます。(法学部卒)長岡靖裕様5千円、井上惇様、小田盛稔様、武村貞男様、川島明様、各1万円、近藤暢宏様1万7千円。(経済学部卒)上村久治様、笠原劉一様、田中義人様、加川哲雄様、今西通好様、松下孝様、各5千円、中島勇二様、服部茂久様、小形敏夫様、山本鍾三様、横田寿夫様、橋本道雄様、林伸吉様、加藤明様、長坂昌信様、野澤弘亮様、岡上聰様、高木市三様、植田糸夫様、千星博様、秋山喜三郎様、平岡駿二様、草間晃一様、平田恭一郎様、各1万円、石附定様1万2千円、五百旗頭邦夫様、橋本裕様、岡本修様、各2万円、野崎幹雄様、松岡三郎様、各2万円、平井幸章様5万円、奥野吉矩様10万円。(経営学部卒)泰井平二郎様、井上直行様、宮平光康様、各5千円、村主慶一様、浅原隆敏様、五十嵐温彦様、黒田宏司様、高重啓一様、尾上泰士様、各1万円、有田直行様3万円。誠にありがとうございます。

お陰様で、本号で新たに「報告できる寄附金額は376万4千円になりました。新年度4月以降の寄附金額は961万3千700円になりました。厚くお礼申し上げます。

(訂正)令和2年10月号「寄附をいただきました後藤勝実様(昭

51経済)は、後藤勝美様の誤りでした。お詫び申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。よろしくお願い申し上げます。また、前号でお知らせいたしましたが、本財団ホームページからのご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<http://www.rokkodafund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: k-koenkai@rokkodafund.com